

2018年10月19日

関係者 各位

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

代表理事 今井 悠介

代表理事 奥野 慧

クーポン利用者審査不備及びクーポン追加提供事案に関する  
進捗状況及び再発防止の方針に関するご報告（第二報）

2018年10月4日にご報告させていただきましたCFCクーポン利用者審査不備に伴うクーポンの追加提供に関しまして、関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

このたびは、2018年10月14日に臨時理事会を開催し、本事案の発生原因及び再発防止に関する方針を決定いたしましたので、ご報告いたします。

今後、本方針にしたがい、クーポン利用者審査業務に関して同様の事態が発生しないよう、運営体制や業務プロセスを改善することといたします。詳細な再発防止策等につきましては、あらためて皆様にご報告させていただきます。

皆様におかれましては、どうか今後とも温かいご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 本事案の概要

クーポン利用者審査において、システム更新時の適切な管理を怠ったことが原因で、学習意欲を測定するアンケート点数の算出式に不備が発生した。これにより、本来クーポンを提供すべき生徒が不採択となり、45名にクーポンを提供できていないことが判明した。

2. 2018年10月4日の報告以降の動き

- ・ 10月4日～10日 45名の生徒・保護者に、謝罪及びクーポン提供について連絡
- ・ 10月14日 臨時理事会開催  
再発防止の方針、関係者の処分等について決定
- ・ 10月19日 45名の生徒に持参又は郵送によりクーポンを提供

### 3. 本事案の発生原因

次の2点が、本事案が発生した原因である。

#### 1) 管理者による管理不足

本年度、多数のクーポン利用希望者からの応募に対応するために、WEBエントリー及び審査システムを新たに構築したが、管理者が十分なチェックを遂行することができなかったことが直接的な原因である。

#### 2) 不十分な業務フローの設計

今回、新たなシステムを構築するにあたり、本来であれば十分なチェック体制が必要であったが、クーポン利用者審査業務全体における作業員・管理者等の役割分担、チェック内容・範囲・時期等を含めた業務フローが十分に設計されておらず、適切な確認が行われない運営体制であったことが、根本的な原因である。

### 4. 再発防止の方針

次の通り、利用者審査業務の運営体制を改めることにより、再発防止に向けた方針を決定した。

#### ・ 支援チームによる利用者審査の業務フロー再設計

恒久的な対策として、2019年度以降の新規利用者審査に向けて、本年度内に支援チームを組織し、利用者審査における業務フローを設計する。本審査業務を担当する審査会を設置することや、審査期間の延長、技術的なアドバイザーの配置等、業務及び運営体制の改善を行う。

### 5. 関係者の処分

次の通り、関係者の処分を決定した。

#### ・ 譴責（2018年10月14日付）

代表理事 奥野 慧（システム更新にあたり適切な管理を怠った。）

### 6. 今後の対応

今後の運営体制の改善状況に関する経過については、適宜WEBサイト等で皆さまにご報告をさせていただきます。

以上